

区民委員会情報連絡

令和 7 年 7 月 1 日

情報連絡事項	頁
1 弘道住区センター空調改修工事について	2
2 子育てサロン北綾瀬のオープンについて	4
3 令和 7 年度ワーク・ライフ・バランス推進企業間交流会の開催について . . .	5
4 あだち区展 2 0 2 5 の開催について	7
5 郷土博物館リニューアルオープンセレモニーの開催結果について	8
6 令和 7 年度芸術鑑賞体験事業の実施について	9
7 3 分野連携事業の名称変更について	10
8 スペシャルライフコートフェスティバルの実施結果について	11
9 令和 6 年度パラスポーツ推進事業の実績について	14
10 足立区学校開放事業審議会委員の委嘱について	18
11 「あだち読書通帳」の令和 6 年度配布実績について	20
12 「調べ学習用図書」の令和 6 年度配送実績について	23
13 梅田八丁目複合施設に係る区民ワークショップの実施について	24

(地域のちから推進部)

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件 名	弘道住区センター空調改修工事について								
所管部課名	地域のちから推進部住区推進課 施設営繕部東部地区建設課、子ども家庭部学童保育課								
内 容	令和7年9月から予定されている弘道住区センターの空調改修工事について、次のとおり報告する。 1 工事概要 (1) 改修工事期間（予定） 令和7年9月頃から令和8年1月頃（5ヵ月間） (2) 主な工事内容 空調設備等の改修 2 施設機能ごとの休館期間等（予定） (1) 休館・休室期間 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設機能</th><th>休館・休室期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>悠々館</td><td rowspan="2">令和7年9月頃から令和8年1月頃</td></tr> <tr> <td>児童館（一般来館）</td></tr> <tr> <td>児童館（特例利用「ランドセルで児童館」）</td><td rowspan="2">休室期間なし ※児童館エリアの工事期間中は、悠々館エリアで運営</td></tr> <tr> <td>学童保育室</td></tr> </tbody> </table> (2) 全館開館予定 令和8年2月頃 3 今後の方針等 (1) 休館期間中の悠々館の利用については、区のホームページや利用者への個別周知等により、五反野コミュニティセンター、中央本町住区センター近隣の住区センターをご案内していく（別紙1参照）。 (2) 利用者の安全に十分配慮し、改修工事を行う。	施設機能	休館・休室期間	悠々館	令和7年9月頃から令和8年1月頃	児童館（一般来館）	児童館（特例利用「ランドセルで児童館」）	休室期間なし ※児童館エリアの工事期間中は、悠々館エリアで運営	学童保育室
施設機能	休館・休室期間								
悠々館	令和7年9月頃から令和8年1月頃								
児童館（一般来館）									
児童館（特例利用「ランドセルで児童館」）	休室期間なし ※児童館エリアの工事期間中は、悠々館エリアで運営								
学童保育室									

弘道住区センター近隣の住区センター



区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件 名	子育てサロン北綾瀬のオープンについて																
所管部課名	地域のちから推進部住区推進課																
内 容	6月24日（火）に子育てサロン北綾瀬が「ららテラス北綾瀬」内にオープンしたため、次のとおり報告する。 1 子育てサロン北綾瀬 <table border="1"> <tr> <th>項 目</th><th>内 容</th></tr> <tr> <td>場 所</td><td>足立区谷中四丁目8番1号 ららテラス北綾瀬内4階</td></tr> <tr> <td>面 積</td><td>110.15㎡ （1）利用者向けスペース 約70㎡ 遊具スペース、授乳・おむつ替えスペース等 （2）事務スペース等 約40㎡</td></tr> <tr> <td>定 員</td><td>42人程度</td></tr> <tr> <td>開 室 日</td><td>週7日開室（年末年始のみ休室）</td></tr> <tr> <td>開 室 時 間</td><td>午前10時から午後6時まで</td></tr> <tr> <td>運 営 形 態</td><td>民間事業者による事業委託運営</td></tr> <tr> <td>利 用 対 象</td><td>（1）0歳から3歳までの乳幼児とその保護者 （2）妊婦とその配偶者</td></tr> </table> 2 主な特徴 （1）乳幼児から使える大型の遊具を導入。 （2）商業施設内店舗との連携事業や夜間講座を7月から実施予定。 （3）北綾瀬駅直結の商業施設内にあるため、買い物ついでに気軽に立寄れる。   3 今後の方針 （1）施設運営の安定化を図る。 （2）委託事業者からの事業提案については、順次、実施に向けて調整していく。	項 目	内 容	場 所	足立区谷中四丁目8番1号 ららテラス北綾瀬内4階	面 積	110.15㎡ （1）利用者向けスペース 約70㎡ 遊具スペース、授乳・おむつ替えスペース等 （2）事務スペース等 約40㎡	定 員	42人程度	開 室 日	週7日開室（年末年始のみ休室）	開 室 時 間	午前10時から午後6時まで	運 営 形 態	民間事業者による事業委託運営	利 用 対 象	（1）0歳から3歳までの乳幼児とその保護者 （2）妊婦とその配偶者
項 目	内 容																
場 所	足立区谷中四丁目8番1号 ららテラス北綾瀬内4階																
面 積	110.15㎡ （1）利用者向けスペース 約70㎡ 遊具スペース、授乳・おむつ替えスペース等 （2）事務スペース等 約40㎡																
定 員	42人程度																
開 室 日	週7日開室（年末年始のみ休室）																
開 室 時 間	午前10時から午後6時まで																
運 営 形 態	民間事業者による事業委託運営																
利 用 対 象	（1）0歳から3歳までの乳幼児とその保護者 （2）妊婦とその配偶者																

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件 名	令和7年度ワーク・ライフ・バランス推進企業間交流会の開催について
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課
内 容	ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業に対する「企業同士の情報交換の場づくり」のため、次のとおり開催する。 1 目的 ワーク・ライフ・バランスに関わる具体的な取組みに加え、企業が抱える悩み（人材確保・社員の育成等）を共有し、交流を深める。そして、今後の企業の取組みに活かしていただくとともに、企業間のネットワークづくりの一助とする。 2 日時・場所 ① 1回目：7月29日（火） ② 2回目：7月31日（木） ※ 2回制（①②は同内容）。時間はいずれも午後3時から5時まで 梅田地域学習センター 3階学習室 3 対象 ワーク・ライフ・バランスに関心のある区内企業 4 内容（1回目・2回目とも同内容） （1）第1部〔60分〕 講演「中小企業のための『えるぼし』『くるみん』認定取得セミナー」 ア 内容 女性活躍、子育て支援を推進する企業を厚生労働省が認定する制度である「えるぼし」「くるみん」について、取得のメリットや方法について社会保険労務士から解説。その後の区内企業による認定取得に繋げていく。 イ 「えるぼし」「くるみん」認定とは （ア）えるぼし認定 一般事業主行動計画の策定・届け出を行い、女性の活躍促進に関する取組みの実施状況が優良な企業を認定。 （イ）くるみん認定 一般事業主行動計画の策定・届け出を行い、計画に定めた目標を達成し、子育てサポートの実施状況が優良で一定の基準を満たした企業を認定。

	※ これらの認定を取得した場合、企業イメージの向上、人材確保・定着などに役立つ、日本政策金融公庫から低利融資が受けられる、といったメリットがある。 (2) 第2部〔60分〕 企業同士の意見交換 ※ 先進企業の事例紹介および同じ悩みや課題に関する情報・意見交換を行う（講演講師の社会保険労務士も参加）。 5 今後の方針 (1) これまでワーク・ライフ・バランス認定企業を対象に意見交換会を実施してきたが、令和7年度からは対象を広げ一般公募で行っていく。 (2) 交流会の結果を踏まえ、これからのワーク・ライフ・バランス推進事業に活かしていく。また、今後も機会を捉え適切なニーズの把握に努めていく。
--	---

区民委員会情報連絡

令和7年7月1日

件 名	あだち区展２０２５の開催について																					
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課																					
内 容	あだち区展２０２５の概要を次のとおり報告する。																					
	1 実施期間																					
	(１) 前期（絵画、彫刻、図工・美術）																					
	令和7年6月24日（火）から6月29日（日）まで																					
	(２) 後期（書道、写真）																					
	令和7年7月1日（火）から7月6日（日）まで																					
	2 会場																					
	シアター１０１０ ギャラリー（北千住マルイ１１階）																					
	3 入賞																					
	<table><tr><th>賞名</th><th>入賞作品数</th></tr><tr><td>区展大賞</td><td>絵画、彫刻、書道、写真部門から各１点</td></tr><tr><td>区長賞</td><td rowspan="3">各部門から１点ずつ</td></tr><tr><td>議長賞</td></tr><tr><td>教育委員会賞</td></tr><tr><td>審査員特別賞</td><td>図工美術２部門（平面・立体）から各１点</td></tr><tr><td>教育委員会特別賞</td><td>図工美術２部門（平面・立体）から若干数</td></tr><tr><td>部門賞</td><td>各部門から若干数</td></tr></table>					賞名	入賞作品数	区展大賞	絵画、彫刻、書道、写真部門から各１点	区長賞	各部門から１点ずつ	議長賞	教育委員会賞	審査員特別賞	図工美術２部門（平面・立体）から各１点	教育委員会特別賞	図工美術２部門（平面・立体）から若干数	部門賞	各部門から若干数			
賞名	入賞作品数																					
区展大賞	絵画、彫刻、書道、写真部門から各１点																					
区長賞	各部門から１点ずつ																					
議長賞																						
教育委員会賞																						
審査員特別賞	図工美術２部門（平面・立体）から各１点																					
教育委員会特別賞	図工美術２部門（平面・立体）から若干数																					
部門賞	各部門から若干数																					
4 審査員																						
<table><tr><th></th><th>絵画</th><th>彫刻</th><th>図工・美術</th><th>書道</th><th>写真</th></tr><tr><td>外部審査員</td><td>２名</td><td>２名</td><td>１名</td><td>５名</td><td>３名</td></tr><tr><td>実行委員会</td><td>１名</td><td>２名</td><td>４名(区小研)</td><td>５名</td><td>３名</td></tr></table>						絵画	彫刻	図工・美術	書道	写真	外部審査員	２名	２名	１名	５名	３名	実行委員会	１名	２名	４名(区小研)	５名	３名
	絵画	彫刻	図工・美術	書道	写真																	
外部審査員	２名	２名	１名	５名	３名																	
実行委員会	１名	２名	４名(区小研)	５名	３名																	
5 表彰式																						
(１) 日時																						
令和7年7月27日（日）午前11時から（1時間程度）																						
(２) 会場																						
庁舎ホール																						
6 入賞作品のウェブ展示																						
8月から区ホームページにて入賞作品を公開予定																						

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 7 月 1 日

件 名	郷土博物館リニューアルオープンセレモニーの開催結果について																																																																																																		
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課																																																																																																		
内 容	令和7年4月26日に郷土博物館がリニューアルオープンし、セレモニーやワークショップ等のイベント及び5月6日までの10日間を無料開館日とし集客を図った。 オープニングイベントの実施結果について、以下のとおり報告する。																																																																																																		
	1 来館者数 総来館者数 約6, 100名 ※ リニューアル前の半年間の来館者数に相当																																																																																																		
	<table><tr><th rowspan="3"></th><th colspan="5">4 月</th><th colspan="6">5 月</th><th>計</th></tr><tr><th>26</th><th>27</th><th>28</th><th>29</th><th>30</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>土</th><th>日</th><th>月</th><th>祝</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th><th>祝</th><th>祝</th></tr><tr><td>セレモニー</td><td>○</td><td></td><td rowspan="4">休 館 日</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 日</td></tr><tr><td>ワークショップ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2 日</td></tr><tr><td>クイズラリー</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>10 日</td></tr><tr><td>お囃子・お茶会</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>1 日</td></tr><tr><td>来 館 者 数</td><td>700</td><td>1,000</td><td>-</td><td>600</td><td>300</td><td>400</td><td>300</td><td>700</td><td>800</td><td>900</td><td>400</td><td>6,100</td></tr></table>		4 月					5 月						計	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6		土	日	月	祝	水	木	金	土	日	祝	祝	セレモニー	○		休 館 日									1 日	ワークショップ	○	○									2 日	クイズラリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10 日	お囃子・お茶会									○		1 日	来 館 者 数	700	1,000	-	600	300	400	300	700	800	900	400	6,100
			4 月					5 月						計																																																																																					
			26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6																																																																																						
		土	日	月	祝	水	木	金	土	日	祝	祝																																																																																							
	セレモニー	○		休 館 日									1 日																																																																																						
	ワークショップ	○	○										2 日																																																																																						
	クイズラリー	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	10 日																																																																																						
	お囃子・お茶会										○		1 日																																																																																						
来 館 者 数	700	1,000	-	600	300	400	300	700	800	900	400	6,100																																																																																							
(1) セレモニーは、多くのご来賓や博物館事業にご協力いただいている方にご参列いただくとともに、お囃子や流し踊りなど地域の皆様のご参加により盛大に執り行った。																																																																																																			
(2) ワークショップやお茶会は早々に定員に達するなど大変に盛況であった。																																																																																																			
(3) 記念グッズ（Tシャツやしおりなど）も好評であった。																																																																																																			
2 来館者の声 (1) すばらしい美術品を鑑賞することができ、次の企画展も来たいと思った。 (2) 学芸員の説明を聞くことで、足立区の文化芸術について理解することができた。 (3) お囃子やお茶会、臨洺亭など郷土博物館全体で文化を実感できた。																																																																																																			
3 今後の方針 (1) すでに複数の区内小学校から見学依頼をいただいております、多様な世代に鑑賞いただけるよう企画内容を工夫していく。 (2) 千住宿開宿400年事業と連携し、「千住街の駅」で博物館グッズの展示や施設案内をすることで、さらなる区内外での認知度向上を図る。																																																																																																			

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件 名	令和7年度芸術鑑賞体験事業の実施について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課
内 容	文化芸術の体験機会が減少している小学生の豊かな心を育むため、全ての区立小学5年生を対象とした芸術鑑賞体験事業を、次のとおり実施する。 1 実施内容 (1) 公演内容 劇団四季「美女と野獣」 会場 舞浜アンフィシアター（浦安市舞浜2 - 50） (2) 実施日 令和8年1月16日（金）、29日（木） 令和8年2月 4日（水）、6日（金）、12日（木）計5日間 (3) 公演時間 午後1時30分から午後4時ごろ（途中休憩あり） 2 対象児童 全ての区立小学校の5年生 5,000人程度 ※ 令和6年度参加児童数 4,739人 3 移動方法 借り上げバスで各学校から移送（学校からの移動時間 約40分） 4 実施方法 業務委託により児童の移動を含めた安全な実施を図る。 (1) チケットの手配 (2) 各学校から会場までのバスの手配 (3) 会場周辺の駐車場の確保及び乗降時の安全誘導 【当初予算額】90,442千円（チケット代、バス移動費用含む） 5 今後の方針 今年度からPTA本部役員に学校関係者としてご協力いただき、劇場の入退場やトイレ利用など安全でスムーズな誘導を強化する。

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 7 月 1 日

件 名	3 分野連携事業の名称変更について
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室 3 分野連携担当課</u> 地域文化課、生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館
内 容	区で実施する 3 分野連携事業の名称として昨年度まで使用していた「ちょい読み」について、第三者により商標登録されていたことから、その使用を中止したことに伴い、令和 7 年度から事業名を変更するため、次のとおり報告する。 1 変更後の名称 「ぷちスポ」「ぷちカル」「ぷち読み」 2 名称変更までの過程 以下の視点を中心に、複数の候補案を絞り込みのうえ、変更後の名称を決定した。 (1) 令和 7 年 5 月 13 日（火）時点で、第三者に商標登録されていないこと。 (2) 3 分野連携事業のイメージが伝わりやすく、発音がしやすいこと。 (3) 一定程度、現在の語感を維持していること。 3 今後の方針 令和 7 年 8 月からのキャンペーン開始に向けて、施設利用者への声掛け（直接的な情報発信）や、あだち広報、SNS による周知（間接的な情報発信）など、様々な角度からの積極的な事業 PR を実施し、認知度の向上を図っていく。

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件 名	スペシャルライフコートフェスティバルの実施結果について																		
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																		
内 容	スペシャルライフコートフェスティバルの実施結果を報告する。 1 開催日時 令和7年4月29日（火・祝）午前10時00分～午後3時30分 2 場所 総合スポーツセンター スペシャルライフコートほか 3 参加人数（体験場所・ブースごとの延べ人数） 2,343人（うち障がい者311人） 体験場所ごとの参加人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>体験場所</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特設ステージ （トークショー、団体発表、チアダンス）</td><td>782 (621)</td></tr> <tr> <td>スペシャルライフコート （障がい者運動教室、はじめてのスポーツ体験、 青空障がい者ヨガ、ハンドバイク ロービジョンフットサル、アンプティサッカー）</td><td>234 (307)</td></tr> <tr> <td>多目的広場 （サッカー、フットダーツ、ふわふわ遊具）</td><td>239 (181)</td></tr> <tr> <td>センター1階ロビー（パラアルペンスキー ※1）</td><td>268 (98)</td></tr> <tr> <td>センター2階会議室（ユニバーサル野球）</td><td>147 (未実施)</td></tr> <tr> <td>センター3階大体育室 ※2 （ボッチャ、ビームライフル射撃、デフスポーツ、 車いすハンドボール、シッティングバレー）</td><td>673 (1,357)</td></tr> <tr> <td>合 計（延べ人数）</td><td>2,343 (2,564)</td></tr> <tr> <td>うち障がい者（延べ人数）※3</td><td>311 (237)</td></tr> </tbody> </table> （）内は前年度の人数。但し、体験内容は一部異なる。	体験場所	参加人数	特設ステージ （トークショー、団体発表、チアダンス）	782 (621)	スペシャルライフコート （障がい者運動教室、はじめてのスポーツ体験、 青空障がい者ヨガ、ハンドバイク ロービジョンフットサル、アンプティサッカー）	234 (307)	多目的広場 （サッカー、フットダーツ、ふわふわ遊具）	239 (181)	センター1階ロビー（パラアルペンスキー ※1）	268 (98)	センター2階会議室（ユニバーサル野球）	147 (未実施)	センター3階大体育室 ※2 （ボッチャ、ビームライフル射撃、デフスポーツ、 車いすハンドボール、シッティングバレー）	673 (1,357)	合 計（延べ人数）	2,343 (2,564)	うち障がい者（延べ人数）※3	311 (237)
体験場所	参加人数																		
特設ステージ （トークショー、団体発表、チアダンス）	782 (621)																		
スペシャルライフコート （障がい者運動教室、はじめてのスポーツ体験、 青空障がい者ヨガ、ハンドバイク ロービジョンフットサル、アンプティサッカー）	234 (307)																		
多目的広場 （サッカー、フットダーツ、ふわふわ遊具）	239 (181)																		
センター1階ロビー（パラアルペンスキー ※1）	268 (98)																		
センター2階会議室（ユニバーサル野球）	147 (未実施)																		
センター3階大体育室 ※2 （ボッチャ、ビームライフル射撃、デフスポーツ、 車いすハンドボール、シッティングバレー）	673 (1,357)																		
合 計（延べ人数）	2,343 (2,564)																		
うち障がい者（延べ人数）※3	311 (237)																		

- ※1 スキーシミュレーターが昨年度より1台増え2台体制となったため、参加人数が増加した。
- ※2 昨年度は小体育室でも体験を行ったが、今年度は障がい当事者等が過ごしやすくなるように休憩場所として使用した。
- ※3 障がい者数については、障がい者手帳を確認しているわけではなく、ヘルプマーク等で確認できた方のみの延べ人数であるため、実数は不明である。

4 来場者からの意見

- (1) 回収したアンケートでは楽しい・満足という意見がほとんどを占め、その理由に、普段できないパラスポーツを初めて体験できたからの記載が複数あった。
- (2) 昨年より障がい者の延べ体験人数が増加し、来場されたゲストのパラスリットの方々からも、障がい当事者の参加が多いイベントはなかなかないとの感想をもらった。
- (3) 障がい当事者の方からは、毎年楽しく参加しており、実際に新しいスポーツを体験できたことが良かったとの感想をもらった。
- (4) 今年度新たに実施した障がい者施設による物販やキッチンカーは売上もよく、アンケートでも好評であり、昨年度より来場者が会場に長く滞在していた。
- (5) トランポリンやモルックなど、実施していない他の競技も体験してみたいとの声があったため、来年度のプログラムとして検討する。

5 課題及び今後の対策

課題	今後の対策
ステージでは、トークショー等人気のプログラムに参加者が集中する一方、チアダンス教室や団体発表では集客に苦慮した。	① 集客力は乏しいが意義のあるプログラムを、人気プログラムの間に挟むなど構成を工夫する。 ② 魅力が来場者に伝わるよう、積極的に声掛け・呼び込みする。
センター内外に会場案内を設置したが、一部の体験プログラムで実施場所を尋ねられることがあった。	① 全体の体験内容・スケジュールが一目でわかるような大型掲示物を複数配置 ② 各階の階段上に案内板を設置 ③ 各部屋の入口に体験内容・スケジュール・部屋内レイアウトを掲示
日差しが強い時間もあったなか、屋外の従事場所や飲食スペースが、日が当たり続ける場所となっていた。	テントを増設する等従事者・来場者双方にとって無理なく過ごせるような環境を整備する。

6 今後の方針

- (1) 来場者の満足度は高かった一方で、昨年より来場者数が減少したため、次年度は競技内容が固定化しないよう、個別にプログラムの見直しを行い、イベント全体でより満足度を高められるよう改善していく。
- (2) アンケートからまた来年も来たいとの多くの声に応えるために、共生社会実現に寄与するイベントとして充実を図りたい。

区民委員会情報連絡

令和7年7月1日

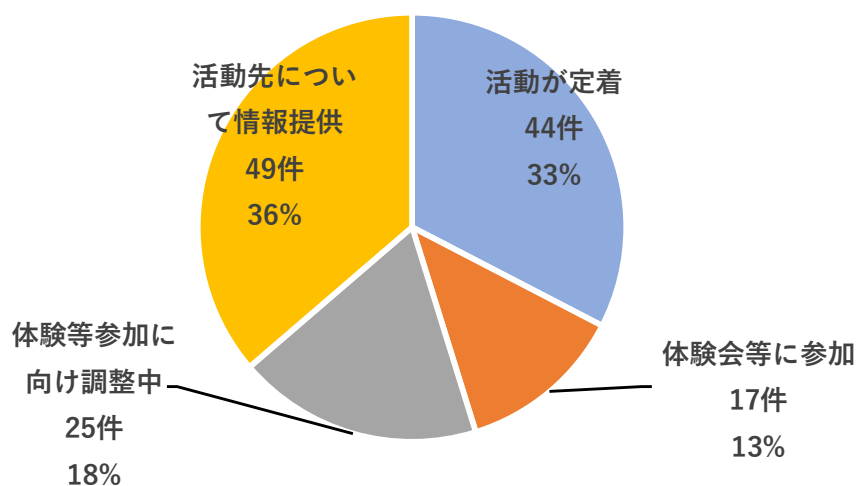
件名	令和6年度パラスポーツ推進事業の実績について													
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課													
内容	令和6年度のパラスポーツ推進の取り組み実績について、次のとおり報告する。 1 あだちスポーツコンシェルジュの相談実績 (1) 令和6年度新規相談 ア 相談件数及び対応状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年間合計</th><th>相談件数</th><th>対応状況</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい者本人・ 家族等からの相談</td><td>22件 (36件)</td><td>(1) 活動が定着 7件 (8件) (2) 体験会等に参加 5件 (6件) (3) 体験等参加に向け調整中 4件 (0件) (4) 相談者からの希望により 活動先の情報提供のみ実 施 6件 (22件)</td></tr> <tr> <td>障がい者施設など 団体からの相談</td><td>20件 (19件)</td><td>(1) パラスポーツの体験会等 を実施 19件 (10件) (2) パラスポーツの指導者を 紹介 1件 (4件) (3) パラスポーツの体験会等 の実施場所を紹介 0件 (5件)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>42件 (55件)</td><td></td></tr> </tbody> </table> ※ () 内は前年度の数値 イ 主な対応事例 (ア) 足立区水泳連盟と調整し、水泳を習いたい障がい児とその保護者に指導者を紹介。継続的な活動につながった。 (イ) 区内でフライングディスクの活動をしている障がい者団体を障がい児とその保護者に紹介し、継続的な活動につながった。 (ウ) 障がい福祉センター社会リハビリテーション室の通所者に対し、ボッチャ等のパラスポーツ、レクリエーションの体験会を実施した。		年間合計	相談件数	対応状況	障がい者本人・ 家族等からの相談	22件 (36件)	(1) 活動が定着 7件 (8件) (2) 体験会等に参加 5件 (6件) (3) 体験等参加に向け調整中 4件 (0件) (4) 相談者からの希望により 活動先の情報提供のみ実 施 6件 (22件)	障がい者施設など 団体からの相談	20件 (19件)	(1) パラスポーツの体験会等 を実施 19件 (10件) (2) パラスポーツの指導者を 紹介 1件 (4件) (3) パラスポーツの体験会等 の実施場所を紹介 0件 (5件)	合計	42件 (55件)	
年間合計	相談件数	対応状況												
障がい者本人・ 家族等からの相談	22件 (36件)	(1) 活動が定着 7件 (8件) (2) 体験会等に参加 5件 (6件) (3) 体験等参加に向け調整中 4件 (0件) (4) 相談者からの希望により 活動先の情報提供のみ実 施 6件 (22件)												
障がい者施設など 団体からの相談	20件 (19件)	(1) パラスポーツの体験会等 を実施 19件 (10件) (2) パラスポーツの指導者を 紹介 1件 (4件) (3) パラスポーツの体験会等 の実施場所を紹介 0件 (5件)												
合計	42件 (55件)													

(2) 開設時（令和2年9月）から令和6年度までの相談件数及び対応状況
[年度別相談件数]

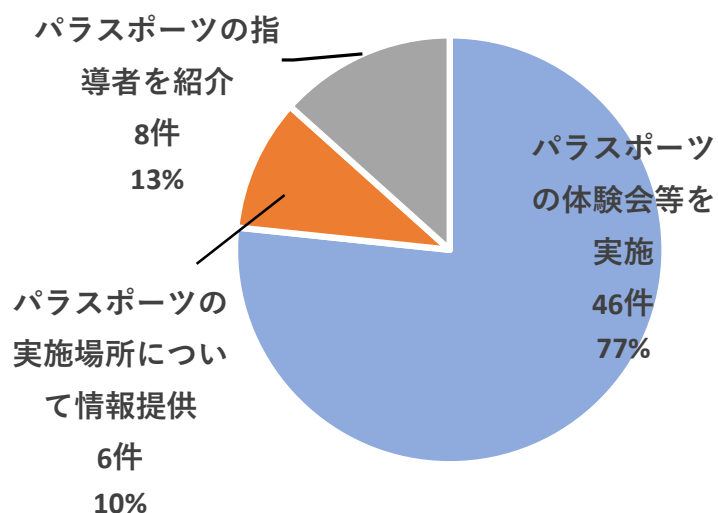
年度	障がい者本人・ 家族等からの相談	障がい者施設など 団体からの相談
令和2年度 (9月～令和3年3月)	33件	0件
令和3年度	22件	8件
令和4年度	28件	13件
令和5年度	36件	19件
令和6年度	22件	20件
合計	141件	60件

[相談への対応状況]

《障がい者本人・家族等からの相談》



《障がい者施設など団体からの相談》



2 障がい者スポーツ活動助成金の交付実績

- (1) 交付決定件数は昨年度より46件増となった。
- (2) 全申請のうち、新規申請者からの申請が118件あり、そのうち4件が、スポーツコンシェルジュの相談を通じて新規にスポーツを始めた方からの申請であった。

※ 申請は年度内1回まで、毎年度行うことが可能

[交付実績]

年度	交付申請件数	交付決定件数	交付額
令和5年度	246件	235件	2,161,000円
令和6年度	289件	281件	2,470,200円
前年度比	+43件	+46件	+309,200円

3 スペシャルライフコートの利用実績

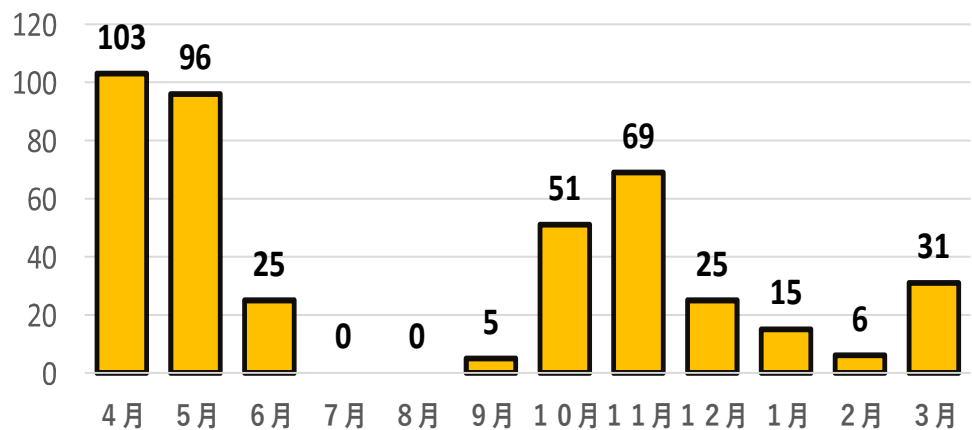
- (1) 全体の利用者数は、個人利用者が増加したことにより、前年度同時期に比べ1,148人の増となった。
- (2) 障がい者の利用者数は、6月から9月にかけて、例年以上の猛暑が続いたため団体利用が減少し、251人の減となった。

[施設利用者実績]

年度	利用者数	うち障がい者
令和5年度	6,661人	677人
令和6年度	7,809人	426人
前年度比	+1,148人	△251人

[障がい者の月別利用実績]

(名)



4 今後の方針

- (1) スポーツコンシェルジュの新規相談件数は、昨年度に比べ減となったが、相談後に活動へ定着した割合は向上した。今後も、活動先に定着するまでの伴走支援を丁寧に行っていく。なお、新規相談件数減となった要因についても調査を進める。
- (2) スポーツコンシェルジュや、スペシャルライフコートについて、障がい者施設や団体への周知を継続するとともに、活用事例をSNSを通じて紹介する等、活動イメージが湧く発信を行い、利用促進を図る。

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件 名	足立区学校開放事業審議会委員の委嘱について																					
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																					
内 容	学校開放事業における利用回数の不公平感や設備の損壊等の諸課題の解決策を検討するため、学校開放事業審議会への諮問を予定している。 審議会の委員の委嘱について、令和7年第6回教育委員会定例会にて可決されたため、次のとおり報告する。 1 学校開放事業審議会について (1) 所掌事項 足立区教育委員会（以下「委員会」という。）の諮問に応じ、学校開放事業に関する基本的な施策及び具体的な運営方法について審議し、次に掲げる事項について委員会に答申すること。 ア 学校施設の適正な使用に関すること。 イ 団体利用のあり方に関すること。 ウ 利用上のルールに関すること。 エ その他、委員会が必要と認めること。 (2) 会議の開催 令和7年7月から3回程度を予定している。 2 委嘱期間 令和7年7月1日から令和8年6月30日まで 3 被委嘱者 <table><tr><th>No.</th><th>区分</th><th>氏名（敬称略）</th><th>職歴等</th></tr><tr><td>1</td><td>学識経験者</td><td>二 宮 雅 也</td><td>文教大学教授（スポーツ社会学）</td></tr><tr><td>2</td><td rowspan="4">学校教育関係者</td><td>吉 野 美 一</td><td>小学校PTA連合会 （弘道第一小学校PTA会長）</td></tr><tr><td>3</td><td>山 口 美 郁</td><td>中学校PTA連合会 （江南中学校PTA会長）</td></tr><tr><td>4</td><td>村 松 治</td><td>千寿双葉小学校校長</td></tr><tr><td>5</td><td>浅 香 英 典</td><td>興本扇学園校長</td></tr></table>	No.	区分	氏名（敬称略）	職歴等	1	学識経験者	二 宮 雅 也	文教大学教授（スポーツ社会学）	2	学校教育関係者	吉 野 美 一	小学校PTA連合会 （弘道第一小学校PTA会長）	3	山 口 美 郁	中学校PTA連合会 （江南中学校PTA会長）	4	村 松 治	千寿双葉小学校校長	5	浅 香 英 典	興本扇学園校長
No.	区分	氏名（敬称略）	職歴等																			
1	学識経験者	二 宮 雅 也	文教大学教授（スポーツ社会学）																			
2	学校教育関係者	吉 野 美 一	小学校PTA連合会 （弘道第一小学校PTA会長）																			
3		山 口 美 郁	中学校PTA連合会 （江南中学校PTA会長）																			
4		村 松 治	千寿双葉小学校校長																			
5		浅 香 英 典	興本扇学園校長																			

No.	区分	氏名（敬称略）	職歴等
6	社会教育関係者	羽 住 敏 久	スポーツ推進委員会会長
7		飯ヶ谷 美 恵	スポーツ推進委員会副会長 総合型地域クラブ（興本倶楽部会長）
8		石 澤 美也子	総合型地域クラブ（千住ウエスト会長）
9		小 川 芙美子	足立区青少年対策地区委員会会長連絡 協議会副会長
10		山 崎 弘 孝	スポーツ協会副会長
11	区議会議員	長谷川 たかこ	区議会議員
12		へんみ 圭 二	区議会議員
13	公募による区民	岡 井 伴 治	区民委員（公募）
14		櫻 井 悠 夏	区民委員（公募）
15		田 口 藍	区民委員（公募）
16		正 岡 佳	区民委員（公募）

4 今後の予定

第1回審議会を以下のとおり開催予定である。

(1) 日時

令和7年7月28日（月）午前10時から

(2) 内容

ア 委員の委嘱

イ 諮問（学校開放事業の制度見直しに関することを諮問予定）

ウ 諮問事項に関する検討

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 7 月 1 日

件 名	「あだち読書通帳」の令和 6 年度配布実績について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館
内 容	子どもの読書習慣定着のために「あだち読書通帳」を区立図書館等で配布している。令和 6 年度の配布実績を次のとおり報告する。 1 「あだち読書通帳」概要 (1) 使用方法 本を読んだ日やタイトル、お気に入り度などを記入して、読書記録を残すことができる。通帳一冊に 50 冊分を記録可能。 ※ 表紙及び中面のイメージは別紙 2 のとおり。 (2) 配布場所 区立図書館、図書受渡窓口、保健センター、子育てサロン、児童館、区立小・中学校、区立保育園・こども園、私立保育園・幼稚園、アウトリーチ事業、講演会等 2 配布実績（別紙 3 のとおり） (1) 親子用については、令和 6 年度から、新たに図書受渡窓口、私立幼稚園 16 園、地域文化課窓口での配布を実施したことにより、令和 5 年度と比べ約 3,700 部増となった。 (2) 小学生用については、上記（1）と同様の配布場所拡大に加え、司書教諭や学校図書館支援員にも周知し、幅広く情報が届くよう PR を行ったことで、令和 5 年度と比べ約 1,700 部増となった。 3 今後の方針 (1) 読書通帳を使用したイベントの開催や、アウトリーチ事業等において幅広く PR を行い、読書習慣の定着につなげていく。 (2) 令和 7 年 8 月頃から、読書通帳に 50 冊分を記録した子どもにペットボトルカバーのプレゼントを開始し、読書通帳のさらなる利用促進を図っていく。

「あだち読書通帳」の表紙及び中面のイメージ

1 親子用

(表紙)



(中面)



読んだ日	本のなまえ	お気に入り度(ひとこと)
1 (オ ケ月)		☆☆☆
2 (オ ケ月)		☆☆☆
3 (オ ケ月)		☆☆☆
4 (オ ケ月)		☆☆☆
5 (オ ケ月)		☆☆☆
6 (オ ケ月)		☆☆☆

2 小学生用

(表紙)



(中面)



読んだ日	本のタイトル	お気に入り度(ひとこと)
1 .		☆☆☆
2 .		☆☆☆
3 .		☆☆☆
4 .		☆☆☆
5 .		☆☆☆
6 .		☆☆☆
7 .		☆☆☆

「あだち読書通帳」の令和6年度配布実績

1 あだち読書通帳（親子用）

配布方法	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B - A)
区立図書館（イベント、はじめてえほん引換時）で配布	2,359 冊	1,305 冊	1,211 冊	-94
保健センターで配布	4,060 冊	4,127 冊	5,343 冊	+1,216
子育てサロン、児童館（はじめてえほん引換時）で配布	2,297 冊	2,082 冊	1,726 冊	-356
区立保育園、こども園、幼稚園で配布	1,297 冊	1,312 冊	3,042 冊	+1,730
私立保育園で配布	—	909 冊	1,222 冊	+313
アウトリーチ事業、講演会等で配布	551 冊	928 冊	1,795 冊	+867
合計	10,564 冊	10,663 冊	14,339 冊	+3,676 冊

2 あだち読書通帳（小学生用）

配布方法		令和4年度	令和5年度 (C)	令和6年度 (D)	増減 (D - C)
区立図書館で配布		4,441 冊	3,435 冊	3,234 冊	-201 冊
区立学校 (※1)	小学校	12,546 冊(31 校)	8,735 冊(65 校)	10,561 冊(67 校)	+1,826 冊
	中学校	200 冊 (1 校)	800 冊(2 校)	0 冊	-800 冊
	小計	12,746 冊(32 校)	9,535 冊(67 校)	10,561 冊(67 校)	+1,026 冊
アウトリーチ事業 講演会等で配布		0 冊	543 冊	1,411 冊	+868 冊
合計		17,187 冊	13,513 冊	15,206 冊	+1,693 冊

※1 校長会でPRを行い、各学校の要望に応じて配布。

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年7月1日

件名	「調べ学習用図書」の令和6年度配送実績について				
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館				
内 容	区立小・中学校に配送している「調べ学習用図書」について、令和6年度の配送実績を報告する。				
	1 配送回数・貸出冊数				
	種別	項目	令和5年度	令和6年度	増減
	小学校	校数	35	35	0
		回数	154	289	+135
		冊数	7,597	11,998	+4,401
	中学校	校数	13	18	+5
		回数	42	85	+43
		冊数	1,709	2,758	+1,049
	合計	校数	48	53	+5
		回数	196	374	+178
		冊数	9,306	14,756	+5,450
	※ 回数は延べ回数				
	2 令和5年度との比較				
	(1) 校長会でのPRや小・中学校教員を対象とした研修会の実施等により、全体の利用回数が大幅に増えた。				
(2) 利用校数は小・中合計で微増であり、半数近くの学校が利用していない状況である。					
(3) 小中学校における調べ学習での学校図書館活用が進んだことに伴い、足立区に関する調べや国語、社会などの教科の学習内容に関する資料の配送依頼が増加した。					
3 今後の方針					
(1) 教育委員会の学校図書館スーパーバイザーと連携した地域図書館での講座や、中央図書館の図書館専門員による相談会を充実させることで、児童・生徒が主体的に調べ学習に取り組む機運を醸成していく。					
(2) 区ホームページや校長会での事業案内に加え、小・中学校教員、学校司書向け研修会・連絡会の場で意見交換を行い、学校現場のニーズを踏まえた見直しを行う。					
(3) 自然教室の行き先に加わった磐梯、那須、赤城に関する「調べ学習用図書」セットを作成し、教員や司書へPRする。					

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 7 月 1 日

件 名	梅田八丁目複合施設に係る区民ワークショップの実施について
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館</u> 図書館サービスデザイン担当課
内 容	梅田八丁目複合施設の整備業務にあたっては、令和 6 年度に全 3 回の区民ワークショップを実施し、意見交換や共同作業を通じて、参加者のつながりや、一人ひとりが施設に主体的に関わろうとする意識が醸成されつつある。 令和 7 年度も継続してワークショップを開催し、複合施設に関する検討を深めながら、施設に長く関わる区民の素地を形成していく。 1 目的 (1) 複合施設の空間や運営のあり方に関する検討を深めること。 (2) 複合施設の目指す姿の一つとして掲げる「協働・協創」の実現に向け、意見交換や共同作業を通じて複合施設に長く関わってもらえる区民を増やすこと。 2 テーマ（令和 6 年度からの継続） 自分ごととして考える — 梅田八丁目複合施設の検討のための実践 — 3 対象者及びねらい (1) 令和 6 年度同様、次のとおりとする（全体で 30 名程度を想定）。 ア 中学生・高校生：施設開設まで関わりを継続してほしい世代 イ 子育て世代：複合施設のメインターゲットとなる世代 ウ 様々な立場の人：子どもをとりまく多様な大人 (2) 令和 6 年度に醸成された参加者同士のつながりや一人ひとりの主体的な意識を大事にするため、令和 6 年度の参加者を基本としつつ、新たな参加者も募っていく。 4 日時・場所 日時：令和 7 年 8 月 3 日（日）午後 1 時から 4 時まで 場所：足立区役所 南館 1 2 階会議室 5 今後の方針 ワークショップの模様を記録、発信することにより、施設設計の実践の過程を共有していく。